

# 北京活动

<sup>令和5年7月号</sup> 第**56号** 

(発行) 広報誌編集会議

## 東京都立北療育医療センター

本 院 東京都北区十条台 1-2-3 TEL:03-3908-3001 FAX:03-3908-2984

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kitaryou/index.html

城南分園 東京都大田区東雪谷 4-5-10 TEL:03-3727-0521 FAX:03-3726-7816

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/jounan/index.html

城北分園 東京都足立区南花畑 5-10-1 TEL:03-3883-5131 FAX:03-3885-9675

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/johoku/index.html

北療だよりは以下のホームページでも御覧いただけます。ぜひ御覧ください。

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kitaryou/kitaryou/kitaryodayori\_new/index.html

# 本院通園科 プール開き

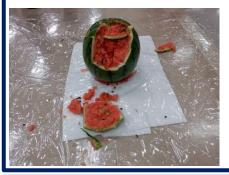
梅雨の曇り空の合間からお日様が見え隠れしていた 6月28日、通園科のプール開きが行われました。

♪あじの開き♪の歌に合わせて拍手していると、スイスイと「あじのお魚」が登場!

お腹が伸びると・・・プール開き、の文字が登場!

その後にはハワイアン音楽に乗って十条台ハワイアンズのダンサー達が やってきて、プールの安全を祈って??楽しい踊りを披露しました。

第 2 弾はスイカ割り。大きなまん丸スイカを順番で触って、その感触や 大きさにびっくり顔の子供達。その後はお父さん・お母さんと一緒にスイ



力割りをして大盛り上がりとなりました。

スイカはブレンダーでフレッシュジュースにして皆にふるまわれ、甘く て美味しい味を堪能しました。

最後はチーム対抗風船バレー。梅雨のむしむしした暑さのイライラ感を吹き飛ばすハッスルぶりでした!無事にプール開きが出来たので、今年こそ沢山プールに入れますように!!

## 城北分園 7月の季節献立

城北分園では、季節献立を月2回提供しています。 7月は、通園・通所の七夕行事に合わせて「七夕 そうめん」や、旬の野菜である冬瓜を使った料理を 提供しました。また、短冊をイメージしたメッセー ジカードを添えました。今後も安心・安全で、利用 者様に楽しんでいただけるような彩り豊かな給食の 提供に努めます。



《献立名》 七タそうめん/厚焼きたまご/ほうれん草の含め煮/ 冬瓜のかにあんかけ/フルーツゼリー

# 本院景建即の後書前景 /

栄養科では、災害に備えて利用者のお食事3日分を確保しています。利用者の摂食嚥下能力は様々であるため、食形態を常菜、軟菜(普通~刻み)、軟菜(ソフト~ペースト)の3つに分けています。更に量も大人と幼児に分けて献立を作っています(右下表)。アレルギー対応の献立、経管栄養剤、缶ミルクも万全に

備蓄をしています。

さて、この災害備蓄食糧品ですが、 様々な形態やアレルギーに対応してい るため、多くの種類の食品を一定量ス トックし、管理する必要があります。



そこで、日常的に災害備蓄食糧品を食事に使用し、常に新しいものに入れ替える『ローリングストック』を行っています。例えば、給食で人気のある『ほうれん草とかぼちゃのシチュー』(写真)は、レトルトのホワイトシチューやペーストの野菜、ベビーフードを使用しています。



今年度は9月1日の防災の日の前週に災害備蓄食糧品体験献立を実施する 予定です。通常は備蓄食糧品に手を加えて提供しておりますが、備蓄食糧品そ のものを味わって災害に備えることも大事だと思います。ご自宅でもこの機会 に災害備蓄食糧品の見直しや体験を行ってはいかがでしょうか。

### 「検体検査オーダリングシステム」を導入します 薬剤検査科 検査担当 高橋亘

薬剤検査科検査担当では、「検体検査オーダリングシステム」の導入を進めています。11 月稼働を目標に関係各科と ワーキンググループによる検討を重ね、効率的な運用を目指しています。

このシステムは、医師からの検体検査依頼がオンライン化され、直接、検査担当の端末に届きます。

また、採血管は検査担当にて、すべて手作業でラベルを貼っていましたが、自動でラベルが貼られるようになります。 将来的に電子カルテが導入されシステム構築が進むと、検査結果も電子化され、データの安全性向上と業務の効率化がよ り一層進むことになります。

#### 今回導入するシステムのメリット

- 1. 患者サービスの向上
  - ①検体検査依頼のオンライン化、ラベル貼りの自動化により「待ち時間が短縮」できる。
- 2. 医療事故防止
  - ①医師からの検体検査依頼がオンライン化され、「依頼もれ」を防止できる。
  - ②採血管の「ラベル貼り間違い」を防止できる。
- 3. 検査業務の効率化
  - ①ラベル貼りの手作業が自動化され、「業務のスピード化」につながる。
  - ②煩雑であった確認業務が「簡素化」できる。



北療だよりに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

- ●編集責任者 事務次長 大髙 祐一
- ●住所 東京都北区十条台一丁目2番3号
- ●電話 03-3908-3001 (代表)

#### 北療育医療センターは、

心身に障害がある方々の、

医療と療育の総合施設です。